

# まちの話 だい

## 9月2日 | 市内最高齢の茶寿を祝福

「敬老の日」を前に、染谷市長は特別養護老人ホームあすか（中河町）を訪れ、市内最高齢で108歳の伊藤みささんの長寿を祝いました。

この日は、家族や施設職員、入所者も加わって「お座敷小唄」を歌って祝福すると、歌うことが好きな伊藤さんも手拍子で応えてくれました。茶の字が「十十」と「八十八」で出来ていることから、108歳は「茶寿」とされています。



## 8月25日 | 匠の技を文化財で体験

解体修理を進めている県指定文化財の金谷いおうじ医王寺薬師堂で「大工のお仕事現場見学会」が開かれ、小学生など約20人が参加しました。

棟梁や現場代理人から、加工技術や大工道具の説明を受けた後、参加者は実際の宮大工の仕事に挑戦。「ちょうな」や「やりカンナ」など、見慣れない道具で木材を削り始めると、すぐにその取り扱いの難しさに汗を流していました。

## 9月25日 | 収穫の苦勞と喜びを実感

金谷地区で、小学生約40人が稲刈りに挑戦しました。これは、金谷公民館が展開する「げんきキッズわくわくクラブ」の一環。子どもたちに、田植えから収穫までを手作業で体験してもらおうと、早苗も6月に参加者が植えたものです。

児童たちは、ぬかるんだ田んぼを歩くのに苦闘。それでも、青年サークルの手ほどきを受けながら、鎌で丁寧に黄金色の稲穂を刈り取りました。





## 9月3日 | 甘くて大きな宝石が鈴なり

川根町渡島にある「げんろく農園」のビニールハウスで、「ぶどう狩り」が始まりました。

生産者の小玉充造こたまじゅうぞうさんが苗木を植えて5年目の今シーズン、ぶどう園としての初収穫ふじみのりを迎えました。栽培品種は、果汁たっぷりの「藤稔」、芳醇な香りの「シャインマスカット」、緑茶色で甘い「ロザリオ・ビアンコ」の三種類。訪れた観光客は、もぎたての味と香りを満喫していました。

## 9月11日 | リオから届いた元気と感動

市内出身で、リオデジャネイロ・パラリンピックの車いすバスケットボール男子に主将として出場した藤本怜央選手ふじもとれいおを応援しようと、ローズアリーナでパブリックビューイングが行われました。

対オランダ戦を見守るため、会場に集まったサポーターは約200人。ボールの行方に一喜一憂しながらも、藤本選手の大活躍とチームの健闘に、惜しみない声援が送られました。



## トピックス

### 消防団に総理大臣表彰



平成26年の大晦日に発生した工場の火災に対して、懸命な消火活動を6日間も続けた島田市消防団が、「平成28年防災功労者内閣総理大臣表彰」を受賞しました。

9月13日には、浜野団長をはじめ6人の消防団幹部が、表彰状を携えて染谷市長を表敬。市長からは、団員やその家族に対する感謝の気持ちが述べられました。